

■科学研究費助成事業(令和2年度)

研究種目	研究代表者		研究課題	交付金額(単位:千円)		継続/新規
	部局・職名	氏名		直接経費	間接経費	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	現代社会学部・教授	大西 秀之	民族誌調査に基づくニッチ構築メカニズムの解明	12,100	3,630	継続(R1-R5)
学術変革領域研究(B)	薬学部・教授	前川 京子	重水素化医薬品設計のための薬物代謝酵素が関与するKIEの予測法・評価法の開発	3,800	1,140	新規(R2-R4)
基盤研究(B)	現代社会学部・教授	笠間 浩幸	保育・教育の質向上に向けた「砂・土」環境の標準化に関する研究	8,200	2,460	新規(R2-R5)
	生活科学部・教授	奥田 紫乃	自然物の見えを考慮したLED照明デザインに関する研究	1,000	300	継続(H29-H32)
基盤研究(C)	表象文化学部・准教授	宮腰 直人	語り物文芸論の再構築に向けた資料学的対照研究ー〈地方諸藩〉の書物環境を視座にして	1,200	360	新規(R2-R4)
	表象文化学部・准教授	大津 直子	谷崎源氏成立過程に関する基盤的研究ー〈新訳〉に焦点をあててー	1,100	330	新規(R2-R6)
	生活科学部・准教授	森 紀之	食品成分の摂取による体温調節機構の活性化を介した自律性機能の改善	1,200	360	新規(R2-R4)
	生活科学部・特任教授	吉田 香	中高年のサプリメント摂取によって起こるミネラル過剰摂取が老人性認知症に及ぼす影響	1,400	420	新規(R2-R4)
	看護学部・専任講師	川崎 友絵	心疾患児の学校生活を支援する「スクールサポート・多職種ネットワーク」の構築	1,400	420	新規(R2-R4)
	看護学部・准教授	光木 幸子	チェンジエージェント能力を向上させる問題抽出と目標設定スキルアップ教材の開発	700	210	新規(R2-R5)
	看護学部・教授	當目 雅代	熟練看護師の術後臨床判断の可視化に基づくシチュエーション・トレーニング教材の開発	1,200	360	新規(R2-R5)
	現代社会学部・准教授	鳥潟 優子	秩序移行期東南アジアにおけるアメリカ外交と冷戦ーイデオロギー化の構図	1,000	300	継続(H31-H33)
	現代社会学部・准教授	記虎 優子	開示情報を利用した内部統制システムに係る企業認知の可視化と情報開示行動の分析	600	180	継続(H31-H35)
	現代社会学部・准教授	倉持 史朗	博愛社と大阪社会事業の総合的研究	1,300	390	継続(H31-H33)
	生活科学部・教授	真部 真里子	和食に用いる調味液の香りによる間接的調味が五基本味の発現に及ぼす影響	1,100	330	継続(H31-H33)
	表象文化学部・教授	若本 夏美	グローバルリンガフランカとしての英語とオーラルコミュニケーション能力の伸張	1,900	570	継続(H31-H33)
	看護学部・専任講師	小笠 美春	視線計測にゲーミフィケーションを取り入れた転倒転落危険予知トレーニング教材の開発	300	90	継続(H31-H34)
	看護学部・准教授	杉原 百合子	認知症の行動・心理症状(BPSD)の要因特定ツールの開発と汎用性の検討	1,000	300	継続(H31-H33)
	学芸学部・准教授	筒井 はる香	18世紀、19世紀のイギリス式ピアノにおける止音装置の変遷と演奏法の関係について	900	270	継続(R1-R4)
	現代社会学部・教授	加藤 敦	「人間志向の起業家精神」と女性リーダーの役割	800	240	継続(H30-H32)
	生活科学部・特任教授	宮本 義信	台湾における長期介護サービス法施行に伴う外国人介護労働者の動向に関する調査研究	600	180	継続(H30-H32)
	生活科学部・教授	西村 公雄	多量の塩を添加せずとも美味しい練り製品を形成し抗酸化性を発揮する新食素材の開発	800	240	継続(H30-H33)
	生活科学部・准教授	鈴木 拓史	脳腸関連システム障害が小腸絨毛形態と小腸上皮細胞特異的機能に与える影響	1,300	390	継続(H30-H32)
	現代社会学部・教授	埋橋 玲子	「音と声」に注目した保育者研修プログラムーECERS及び音環境調査に基づいてー	1,100	330	継続(H30-H32)
	現代社会学部・教授	塘 利枝子	多文化・多言語環境で育つ子どもの発達障害の査定と支援	1,000	300	継続(H30-H33)
	薬学部・教授	前川 京子	薬物代謝酵素CYP2C9の複数の基質結合がアロステリック性に果たす役割の解明	1,100	330	継続(H30-H32)
	薬学部・特任助教	間下 雅士	細胞膜修復に関わるADP-リボシル化修飾酵素の探索およびその細胞内機序の解明	900	270	継続(H30-H32)
	薬学部・教授	尾崎 恵一	シグナル伝達病治療標的としてのERK-MAPキナーゼ経路下流因子の探索	800	240	継続(H30-H32)
	看護学部・准教授	木村 洋子	ICTを活用したうつ病患者家族支援システムの構築と評価	500	150	継続(H30-H32)
	看護学部・専任講師	葉山 有香	IVRIに携わる看護師の職業被ばく低減とチーム医療を推進する教育プログラムの開発	900	270	継続(H30-H33)
	看護学部・教授	眞鍋 えみ子	30歳以上の妊婦における下肢の筋力・筋量維持プログラムの開発と臨床的应用	400	120	継続(H30-H33)
	看護学部・准教授	和泉 美枝	多施設協働シミュレーション学習・客観的臨床能力試験を用いた助産学生の実践能力評価	300	90	継続(H30-H33)
	看護学部・専任講師	山縣 恵美	身体的、心理・精神的、社会的側面を包括するフレイル介入プログラムの開発・検証	600	180	継続(H30-H33)
	看護学部・特任教授	長谷川 昇	高齢者サロンを利用したブレフレイル状態の可逆性の検討	1,000	300	継続(H30-H32)
	生活科学部・教授	今井 具子	アプリを用いたライフステージに応じた健康サポートシステムの構築	300	90	継続(H29-H33)
	現代社会学部・教授	日下 菜穂子	コミュニティ形成による高齢期のライフデザインの発達支援の検討	900	270	継続(H29-H32)
	薬学部・教授	川崎 清史	内毒素や抗菌ペプチドなどの生物間の攻撃と防御の物質を利用した感染症創薬シーズ研究	延長	延長	継続(H29-R2)
	看護学部・教授	當目 雅代	視線計測を客観的評価フィードバックに用いた学生術後観察トレーニング教材の開発	延長	延長	継続(H28-R2)
	看護学部・教授	小松 光代	在宅療養する認知症の人の生活リズム障害と行動心理症状を軽減する看護支援プログラム	延長	延長	継続(H28-R2)
	看護学部・准教授	橋本 秀実	日本人留学生の海外における性行動とその関連要因に関する研究	延長	延長	継続(H28-R2)
	看護学部・准教授	宮川 幸代	産後うつ予防のための妊娠中から産後までの睡眠支援プログラムの開発	延長	延長	継続(H29-R2)

若手研究	生活科学部・准教授	齋藤 朱未	中長期間避難を強いられた農村の復興方策の検討ー福島県飯舘村を事例としてー	300	90	新規(R2-R5)
	薬学部・特任助手	高橋 知里	多発性骨髄腫におけるボルテゾミブ耐性機構の解明とその克服法の探索	1,500	450	新規(R2-R4)
	看護学部・実習助教	古川 亜衣美	新人期看護師の看護実践能力習得ー正統的周辺参加論によるモデル化ー	1,700	510	新規(R2-R4)
	現代社会学部・助教	張 イヨウ	ファンタジーの存在論にみるジェンダー攪乱-ボーイズ・ラブに関する系譜学研究	700	210	新規(R2-R5)
	現代社会学部・助教	金子 雄太	オンライン/オフライン環境のパスデータをを用いた消費者購買行動のモデル開発	1,100	330	新規(R2-R4)
	現代社会学部・助教	鈴木 尊明	複数当事者間での利益調整ー427条分割原則と456条「分別の利益」を素材としてー	700	210	継続(H31-H34)
	薬学部・特任助教	木村 峻輔	新規生体膜透過機構を基盤とするシプロフロキサシン粉末吸入製剤の開発	900	270	継続(H31-H32)
	看護学部・実習助教	天野 功士	前立腺がん術後患者の自己管理スキルを高める支援プログラムの開発と有用性の検討	1,500	450	継続(H31-H34)
	表象文化学部・助教	宮本 明子	小津安二郎直筆資料群をはじめとする、映画一次資料の保存・展開に向けた基礎的研究	600	180	継続(H30-H32)
	現代社会学部・助教	福本 俊樹	組織エスノグラフィーの実践的有用性の検討	700	210	継続(H30-H33)
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	看護学部・准教授	杉原 百合子	嗅覚感応デジタルゲームを応用した認知症予防プログラムの国際共同研究	3,000	900	継続(R1-R5)
	生活科学部・教授	奥田 紫乃	色彩情報学と材料物性学の融合による文化財保存・修復技術の構築	4,000	1,200	継続(H30-H33)
研究活動スタート支援	薬学部・特任助教	山下 直哉	アリル炭化水素受容体(AhR)アゴニストによる乳がん腫瘍様塊の形成抑制機構の解明	1,100	330	継続(R1-R2)
	薬学部・特任助教	山下 修吾	骨標的化高分子ミセルを利用したFGF23発現制御法の確立と腎線維症治療への展開	1,100	330	継続(R1-R2)

学術研究支援課